



気のせいかな？
傾いてる…



止めよう改憲! 国会前大行動

日本は核兵器禁止条約に批准を

11月3日、国会議事堂正門前にて、「止めよう！改憲発議 この憲法で未来をつくる11・3国会前大行動」がおこなわれ18,000人が参加した。全港湾からも関東地方10名、中央本部が参加した。

今回の大行動は、戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会と安倍9条改憲NO!全国市民アクションが共催したもので、平和憲法を改憲させない一点で実施されたもの。

集会には、護憲の立場から国会議員や著名人が多数駆けつけ、相継いで発言がおこなわれたが、昨年ノーベル平和賞を受賞したICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の川崎氏がノーベル平和賞のメダルを持参して登場し「国連総会で核兵器禁止条約の批准を広げようという決議が出されたが、なんと日本は反対した。一刻も早く核兵器禁止条約の署名・批准をするための議論を行うべき」と主張すると大歓声が湧き上がった。

秋の臨時国会は10月24日から始まり、会期は12月10までの48日間とされている。平和憲法を活かす取り組みを強化して行こう。



第1回四国地区港湾労使協議会の開催

労使協議会の設立については、各地区港湾が次々と労使協議会の立ち上げができていくことから、無理を言わずに東北港湾や日本海港湾には労使協議会の場にオブ参加させていただき、労使協議会のイメージを学ぶことができました。それを持って四国での労使協議会の在り方や開催方法などの方向性を確立することができていました。

18春闘の中央港湾団交において、「四国地区の労使協議体制については、地区事情に対応した体制の確立を早急に行う。」との回答を引き出しいただいたことを受けて、早急に四国港運協会との折衝を重ねてきました。四国港湾の組織加盟が全港湾と日検労だけなので、労使協議会の設立には非常に苦労しましたが、四国港運協会との事務折衝を行い、侃侃諤諤の議論を

重ね、ようやく10月16日に、高松港湾労働者福祉センターにおいて、第1回四国地区港湾労使協議会を開催することができました。

労使協議会では、四国港湾と四国港運協会から、それぞれ11名が参加して開催されました。会議では、産別協定の履行だけを求めるだけではなく、四国における様々な問題を労使で解決できるようにすることも、重点的な協議議題として扱って行こうと投げかけ合意を得ることができました。

四国港運協会は、今一番の問題として提起して取り組んでいる坂出港の雇用問題を個別企業の問題としてしか認識していません。国際戦略港湾が1港もない四国においては、今後も起こりうる大きな問題が再度繰り返さないようにするため、四国港運協会としてもっと真剣に拘わり取り組んでもらいたいと強く訴えました。

今回は第1回目の開催ということで、協議会の趣旨の確認や意見交換を行い、協議会立ち上げについての「確認書・覚書」に調印し終わりました。この労使協議会を、四国港湾に結集する組合員の雇用と生活を守り、港湾産別を守り発展することができるように活性化させなければならないと決意しています。(四国地方 橋崎正伸)



四国地方

四国の新居浜太鼓祭りが 熱い!



四国には、徳島の阿波踊りと高知のよさこい祭りが有名ですが、四国三大祭りとして、新居浜太鼓祭りがあります。また、日本三大喧嘩祭りとして、非常に活気あふれる祭りが行われています。毎年10月16日から18日までの3日間開催されており、今年は3日間とも平日開催でしたが、学校が休みとなり会社も休みにするところが多くあって、祭りを新居浜市全体で盛り上げようとしています。

今年は2年に一度行われる「船御幸(ふなみゆき)」が行われ、新居浜支部の仲間が頑張っていると聞いたので観てきました。船御幸とは、1733年より始まった全国的に珍しい海上供奉行事です。台船に4台の太鼓台とそれをかき上げる「かき夫」が乗り込み、大江海岸から全港湾店社である浜栄港運(株)前の中須賀海岸に渡ります。台船が岸壁に着くと、太鼓台は台船と岸壁の段差を、かき夫が力を合わせてさし上げながら上陸させ、浜栄港運(株)前で太鼓台のさし上げを行います。この船御幸に使われている台船を運行する作業には、浜栄港運(株)と森実運輸(株)が携っており、祭りにも拘らず新居浜支部の仲間が作業着を着て大活躍していました。今回の船御幸が行われている最中に、新居浜太鼓祭りの醍醐味でもある太鼓台同士の喧嘩が起きたことで、祭りの見学者が喧嘩の方に流れてしまい、いつもよりは盛り上りに欠けていたそうです。



太鼓祭りを労働組合に照らし合わせて学ぶことがあります。いくら大きく立派な太鼓台を作っても、それをかき上げるかき夫が少なすぎてもさし上げることができません。またかき夫が多くいても心をつにしてさし上げなければ、綺麗にさし上げられません。太鼓台が「全港湾」として、かき夫が「組合員」に置き換えると、組合員が団結しないと全港湾が立派に見えませんが、もちろん全港湾がいい組織でないと、組合員が団結できません。ですので、全港湾が魅力ある組織であり続け、それを支える組合員を増やし、団結しようと思えるようにしなければならぬと、この新居浜太鼓祭りを通じて改めて感じることができました。

船御幸は次回2020年開催です。是非一度、新居浜支部の仲間が頑張っている新居浜太鼓祭りを観に来てください!(四国地本 橋崎正伸)

LOCAL

労金・全労済研修会大盛況

金銭トラブルにならない 賢い生活設計を!

9月30日に釧路支部執行部研修会を開催いたしました。釧路支部構成4分会より25名、労働金庫釧路支店、全労済北海道・東北統括本部及び道東支店より講師の方を招き、総勢32名での開催となりました。

研修会では「多重債務にならないために」や「400万円の賢い生活設計～北海道発の団体生命共済100口～」など労金・全労済に関わる課題について講義を受け、身近に起こりうる金銭トラブルや保険・資産運用の話など、非常にためになる内容で質疑も活発に行われました。研修会後は野外BBQで日頃の疲れを癒し親睦を深めました。来年もぜひ開催したいと思います。

釧路支部



2018.9.30
全港湾釧路支部 執行部研修会

多重債務に陥らないために



2018年9月30日(日)
北海道労働金庫釧路支店

R 多重債務とは

- 複数の金融機関から借金をしている状態。
- 借金を返すために、借金をする。
- 自転車操業的な借入れを繰り返し、返済困難に陥っている状態を指します。

